

～ 環境共生型自給農ライフの実現に向けた地域計画 ～

## シンポジウム

# 自給型のくらしと 地域を目指して

持続可能で安心な未来のライフスタイルを共に考えませんか？

### 話題提供

#### ■ 食の自給の観点から



自給自足 Life 代表  
**竹内 孝功 氏**

竹内孝功（たけうちあつのり）  
1977年長野市生まれ。自然菜園コンサルタント。安曇野市で「Azumino 自給農スクール」を主催。NHK文化センター松本「コンパニオンプランツ講座」講師。福岡正信氏の自然農法をはじめ、川口由一氏の自然農、岡田茂吉氏の自然農法などを学ぶ。無農薬・無化学肥料栽培による持続できる自然菜園の楽しみ方や技術を指導している。著書は『これならできる！自然菜園 耕さず草を生やして共育ち』（農文協）、『育ちや味がどんどんよくなる 自然菜園で野菜づくり』（家の光協会）など。

#### ■ エネルギー自給の観点から



NPO 地域づくり工房代表  
**傘木 宏夫 氏**

傘木宏夫（かさぎひろお）  
1960年大町市生まれ。長野大学非常勤講師。環境アセスメント学会常務理事。自治体問題研究所理事。長野県住民と自治体研究所理事。木崎湖温泉開発株式会社取締役。合同会社菜の花ステーション代表。著書は『仕事おこしワークショップ』（自治体研究社）、『地域づくりワークショップ入門—対話を楽しむ計画づくり』（自治体研究社）など。

平成 27 年

**2/22** 日

**会場** 信州大学農学部  
総合実験実習棟 (30 番教室)

**時間** 13:30 ~ 16:45  
交流会 17:00 ~ 18:30

#### 参加申込み

シンポジウム参加は無料です。  
(1) お名前, (2) 性別, (3) ご職業を明記の上, 下記申込み窓口へなるべく電子メールで事前にお申し込み下さい。  
(電話でも受け付けいたします)  
当日参加も受け付けますが, 交流会には事前予約が必要です。  
なお, 交流会の参加費は 1000 円です。

主催 青果物機能学・農村計画学研究室  
共催 信州大学農学部, 自給自足 Life,  
NPO 地域づくり工房

申込窓口

青果物機能学研究室 (濱渦 [はまうず])  
E-mail [hamauzu@shinshu-u.ac.jp](mailto:hamauzu@shinshu-u.ac.jp)  
TEL 0265-77-1413

# 「環境共生型自給農ライフの実現に向けた地域計画」 シンポジウムについて

私たちの生活は、産業の発展と共に大変便利になりました。しかしその反面、大規模産業の発展はエネルギーや農薬・化学肥料などの過剰な投入による環境破壊をもたらし、食の安全性に対する懸念も生じさせています。食やエネルギーといった生活基盤を全面的に大規模産業システムに依存している状況下では、私たちの生命のもとである食と環境の現実の姿や本来あるべき姿を知ることも難しく、安全安心や選択の自由を確保することも危うくなります。本シンポジウムは、地球環境に配慮した形で、自分の生活に必要なものをできるだけ自身で確保する「自給的な暮らし」の意義と重要性をみなおし、実践するきっかけとなることを目的としています。そしてそのようなライフスタイルの志向者が集い、持続可能な食とエネルギーで構築される未来の地域社会を実現させる可能性を模索します。

## シンポジウム日程

- 13:00 開場
- 13:30 開会
- 13:30 ~ 13:45 趣旨説明  
濱渦康範 (信州大学大学院農学研究科)
- 13:45 ~ 14:05 話題提供 1 (食の自給の観点から)  
自給自足 Life 代表 竹内孝功氏
- 14:05 ~ 14:25 話題提供 2 (エネルギー自給の観点から)  
NPO 地域づくり工房 代表理事 傘木宏夫氏
- 14:25 ~ 15:30 パネルディスカッション
  - ◎ 進行  
内川義行 (信州大学農学部 農村計画学研究室)
  - ◎ パネリスト  
竹内孝功氏 (自給自足 Life 代表)  
傘木宏夫氏 (NPO 地域づくり工房 代表理事)
- 15:30 ~ 15:40 休憩
- 15:40 ~ 16:30 質疑応答
- 16:30 ~ 16:45 総括
- 16:45 閉会



**交流会** 時間：17:00 ~ 18:30  
場所：生協食堂

文部科学省  
**地(知)の拠点**

本シンポジウムは「文部科学省 地(知)の拠点整備事業」の支援を受けています。

